

国史跡「元寇防塁」の追加指定について

-九州大学箱崎キャンパス内発見の石積み遺構-

福岡市東区箱崎六丁目に所在する九州大学箱崎キャンパス内で発見された石積み遺構について、令和3年6月に国文化審議会文化財分科会から、文部科学大臣に国史跡元寇防塁(昭和6年文部省告示第116号)に追加指定するよう答申されました。

概要

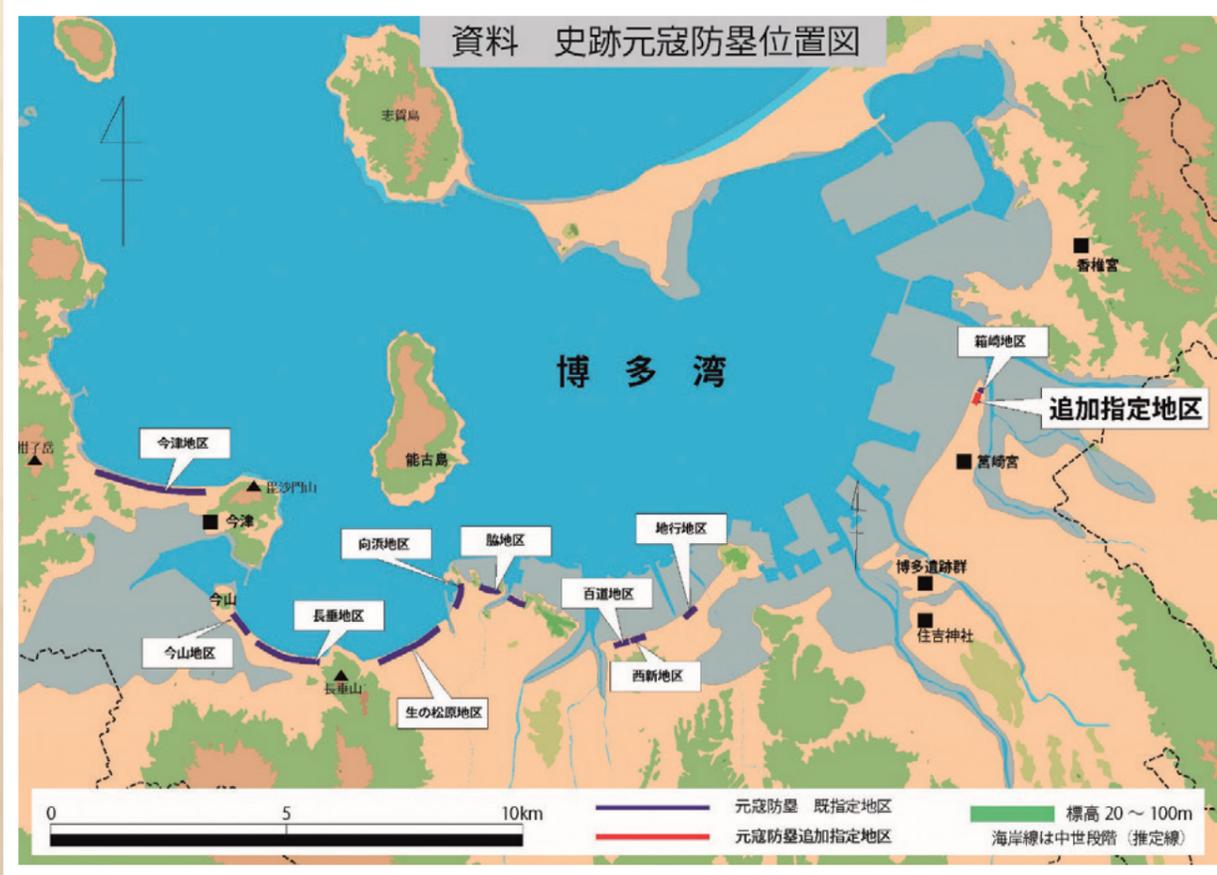
元寇防塁は文永11年(1274)の元軍による文永の役の後、時の執権北条時宗が建治2年(1276)に九州の御家人に命じて博多湾沿岸に築かせた石築地の防衛施設です。総延長は約20kmにもおよび、当時の状況は「蒙古襲来絵詞」からもうかがい知ることができます。その歴史的重要性から昭和6年に史跡に指定され、現在、今津・今宿・生の松原・西新・箱崎の5地区10箇所の防塁が史跡に指定されています。

このうち箱崎地区については、平成28年からの九州大学埋蔵文化財調査室による九州大学箱崎キャンパス跡地での内容確認調査によって、指定地外の箇所でも石積み遺構とその背後の溝状遺構が確認されました。

今回追加指定されるのは、令和2年に追加指定された地点の北側にあたり、南北に延びる石積み遺構と内陸側の溝状遺構が確認された箇所となります。



追加指定範囲位置図



史跡元寇防塁位置図

F's Report

— vol.5 —
2021(令和3)年10月

地域の声を市政に!

自民党 **新福岡**

福岡市議会議員 **東区**

ふじの哲司



ご挨拶

拝啓 仲秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。

さて、この度、令和3年第1回福岡市議会、条例予算特別委員会総会にて「九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりについて」、令和3年第3回福岡市議会・一般質問で「豪雨災害時における避難行動の啓発」ならびに「保育士の人材確保」について質問しましたので、その内容の抜粋をご報告致します。また、九州大学箱崎キャンパス内に発見された石積み遺構について、国史跡「元寇防塁」の追加指定されましたので、併せてご報告致します。

新型コロナウイルスについてですが、感染力が強くなり、各都道府県で最多の感染者数を記録しております。基本的な感染症対策に改めてお気をつけ頂き、ご自愛下さいませようお願い申し上げます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

敬具
藤野 哲司

- 略歴
- 昭和56年 東区箱崎に生まれる
 - 平成 6年 福岡市立箱崎小学校卒業
 - 平成 9年 福岡市立箱崎中学校卒業
 - 平成12年 福岡県立光陵高等学校卒業
 - 平成16年 福岡大学法学部経営法学科卒業
 - 平成16年 日栄通信工業株式会社入社
 - 平成25年 福岡県議会議員東区 長裕海 秘書
 - 平成31年 福岡市議会議員選挙 初当選

- 役職
- 福祉都市委員会 副委員長
 - 都市問題等調査特別委員会 運営理事
 - 九州大学移転・跡地利用対策協議会 運営理事
 - 福岡市都市計画審議会 委員
 - 福岡市建築審査会 委員
 - 福岡市開発審査会 委員
 - 福岡市病院事業運営審議会 委員
 - 東消防団箱崎分団 班長
 - 箱崎まちづくり委員会 委員
 - 箱崎交通安全推進委員会 理事
 - 一般社団法人福岡青年会議所 会員

ふじの哲司市政相談所

〒812-0053 福岡市東区箱崎2-16-48

TEL 092-643-5200 FAX 092-643-5300

<https://fujino-tetsushi.jp/> tetsushi.fujino@gmail.com



九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりについて

Q 北エリア、及び南エリアの都市基盤の整備について、今後、どのように進められるのか尋ねる。

A 北エリアについては、令和3年3月末に土地区画整理事業の事業認可を予定しており、令和3年度は土地区画整理審議会を設置する。仮換地の指定を行うとともに、道路の実施設計や補償調査等を行い、令和4年度から工事に着手する予定。
南エリアについては、令和3年1月に開発協議が成立し、施行者であるUR都市機構が令和3年度より土地造成等の工事に着手する。また、都市計画道路についても、引き続き整備を進める。

Q オープンスペースの重要性が再認識されているが、南エリアに整備される箱崎中央公園において、どのような整備を目指しているのか尋ねる。

A 箱崎中央公園は跡地南側の身近な公園不足の解消や、防災性の向上を図ることを目的に、近隣公園として整備する。現在周辺まちづくりとの調和やオープンスペースの確保などの観点から整備内容の検討を進めているところである。

Q 箱崎中央公園において、どのように防災性の向上を図るのか尋ねる。

A 災害時には避難場所となる公園、避難所となる中学校などを一体的に運用する。

要望 防災性の向上は、安全・安心なまちに重要であり、住民の関心の高い事項であるため、災害の危険から命を守るために緊急的に避難するための避難場所と、一時的に生活する場を提供するための避難所との機能分担をしっかりと考え、連携できるように進めて頂くよう要望する。

Q 貝塚公園について民間活力を活用するなど、賑わいがある公園としてもらいたいが、貝塚公園の再整備の検討状況について尋ねる。

A 貝塚公園については、ランドデザインにおいて、憩い・賑わい・交流機能のある駅前空間を創出することとしており、現在、課題の整理や再整備により導入する機能、民間活力の導入手法等の検討を行っている。
なお、再整備にあたり、貝塚駅へのアクセス性の向上と交通結節機能の強化に向けて、駅前広場と道路を新たに整備するために、令和2年6月に公園区域の都市計画の変更を行っている。

要望 貝塚公園については、駅前という立地を活かして賑わいや交流が図れる施設を入れながら、多くの人にとって使いやすい、どの世代にも親しまれる新たな公園として整備するよう要望する。

Q JR新駅の検討状況について尋ねる。

A 現在、JR九州において令和7年の開業目標として、新駅設置に関する技術的な検討が行われており、令和3年度に駅舎の基本設計など、より具体的な検討を行う。

Q JR新駅が設置されることで地下鉄、西鉄、JRの3路線の駅が近接することから、貝塚駅周辺は新たな交通結節拠点になると考えられる。ランドデザインにおいても、貝塚駅周辺の交通結節機能の強化を図るとのことであるが、どのような都市基盤の整備を行うのか尋ねる。

A 貝塚駅の東西には、それぞれ駅へのアクセス道路と駅前広場を整備するとともに、JR新駅の東側には自動車の乗降スペースを整備することにより、交通結節機能の強化を図っていく。また、合わせてクランク状で歩道が狭く危険な踏切道を廃止し、それに伴う自由通路を整備する。

要望 新たな駅前広場の整備などにより交通結節機能の強化を図るとともに、民間活力を最大限に引き出しながら、貝塚駅周辺がまちの顔に相応しい空間となるよう要望する。

Q 今後の箱崎キャンパス跡地のまちづくりに向けて、高島市長の決意を伺う。

A 九州大学箱崎キャンパス跡地の土地づくりについては、周辺の4校区をはじめとする地域の皆様と共に作り上げたランドデザインの実現に向け、九州大学が100年そこに存在したというこのブランドと、また広大な敷地や交通といった強みを活かし、リノベーションを産み出す新たな拠点を創出すると共に高質で快適なライフスタイルや都市空間作りに向けた取り組みを進めているところである。
藤野議員がご指摘の通り、地元の皆様の期待も高いことから、新型コロナウイルス感染症を契機に生じた様々な変化や課題も踏まえ、ゆとりのある空間整備など多様な取り組みの誘導を行うと共に、先進的なまちづくり「Fukuoka Smart East」の実現に向けて、未来に誇れるまちづくりをしっかりと取り組んでいく。

令和3年6月定例会一般質問 (一部抜粋)

豪雨災害時における避難行動の啓発について

Q 市民が命を守るためには、いつ避難したらよいのか分かりやすく、そして、迷わず行動に移せるよう、適切なタイミングでの確かな表現で情報提供されることが前提でなければならないと考える。その課題を踏まえ、避難情報の発令に関し、どのように改定されたのか、概要を尋ねる。

A 警戒レベル3は従来の避難準備・高齢者等避難開始から高齢者等避難に改められている。警戒レベル4は避難勧告が廃止され、避難指示のみとなり、避難のタイミングが明確化された。さらに、警戒レベル5の災害発生情報が緊急安全確保に改められ、災害が切迫、発生した状況であることを伝え、近傍の堅固な建物への移動等、身の安全を確保するための行動を指示できるようになっている。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
警戒レベル5緊急安全確保の発令を待つてはいけません!

避難勧告は廃止されます。
これからは、**警戒レベル4避難指示**で危険な場所から**全員避難**しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、**警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。



保育士の人材確保について

Q 市が独自に実施されている家賃助成と奨学金返済支援について、制度の概要について尋ねる。

A 家賃を負担している正規雇用の保育士に月額1万円を上限に家賃の助成を行っている。奨学金返済支援事業補助金については、奨学金を活用して資格を取得した正規雇用の保育士に、当初の返済期間の2分の1までの間、短大等の卒業者は月額1万円、大学の卒業者は月額1万5,000円を上限に返済額の助成を行うものである。

Q 学生の意向を踏まえて実施した施策があるのか尋ねる。

A 令和2年度からホームページ「保育士就職支援NAV1」を開設し、保育の内容や教育メソッド、勤務条件などの項目ごとに検索でき、各保育所の状況を容易に見ることができるようになった。

Q 家賃助成や奨学金返済支援などの福岡市の施策を積極的にPRして、他都市から保育士に来てもらえるような取組が必要と考えるが、所見を尋ねる。

A 福岡市の内外を問わず、希望いただける多くの保育士の方に福岡市内の保育所等に就職していただきたいと考えており、今後とも、「保育士就職支援NAV1」などを活用しながら、多くの学生の方に届くよう効果的な広報になるよう努めていく。